

保護者 様

諫早市立上諫早小学校
校長 田 中 一 吉

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。昨年7月と12月に実施いたしました学校評価につきましては、お忙しい中にご協力いただき誠にありがとうございました。
本年度の反省を次年度に生かしてまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

本年度の重点目標

(1) 確かな学力の向上(知)	(4) 生徒指導の充実(徳)
(2) 特別支援教育の充実	(5) たくましい心身の育成(体)
(3) 心の教育の充実(徳)	(6) 家庭、育友会、地域との連携

自己評価 (達成度)

○80%以上、◎90%以上、↑5%以上の改善

領域	重点目標	評価項目	児童 保護者 教師			分析及び改善策
			前 後	前 後	前 後	
学校 経営	1 学校目標の具現化	学校目標「やさしく、かしこく、たくましい子」の育成を目指している。	86○ 85○	83○ 85○	80○ 83○	学校目標の具体策を児童の実態に合わせてながら適切に改善し実践した結果として、三者の評価が80%以上になったと考える。少数意見ではあるが、どのように取り組んでいるのか分からないという保護者の意見があった。学校便りやHPで、分かりやすい情報発信に努める必要がある。
	2 特色ある学校づくり	地域や学校の特色を生かした教育活動を行っている。	93◎ 94◎	89○ 91◎	72 75	児童と保護者の評価は高い。教師の評価が二者と比べて低いのは、学校目標を達成させるために教師の関わりを改善したいという自己評価の厳しさにあると思われる。
	3 教育情報の提供	学校の出来事や学習、生活の様子等の情報提供に努めている。	81○ 84○	88○ 88○	72 78↑	児童と保護者の評価が高いのは、情報を受け取る保護者の身になって発信している結果である。学習や生活の様子を担当が把握し、日々の連絡や必要に応じた教育相談を通して、保護者と情報を共有できているからである。
	4 育友会や地域との連携	学校行事への参加、協力を呼びかけ、自らも参加に努めている。	90◎ 88○	90◎ 90◎	75 83○↑	児童と保護者の評価が高い。教師の評価が二者と比べて低いのは、育友会行事へ参加できない時があったからである。教師も地域行事や家庭の都合もあるが、できる限り参加するよう努力する。
心の教育	5 道徳教育・特別活動の改善	教育課程に基づいて、計画的に道徳教育や特活等の工夫と改善に努めている。	83○ 81○	85○ 83○	75 79	児童と保護者の評価が高いのは、学校が子どもの話し合いや実践活動を大切にしている結果である。教師の評価が低いのは、計画的に指導したいが工夫や改善が思うようにできていないからである。
	6 体験活動の推進	体験活動を通して思いやる心などの心の育成に努めている。	91◎ 88○	86○ 83○	83○ 81○	地域や育友会の協力を得て、稲作り、芋作り、野菜作りなどの作物を栽培する貴重な体験ができ、活動を通して感謝や協力する心を育てることができた。継続した世話ができるようにする。
	7 読書活動の推進	実態に応じた読書活動の推進に努めている。	84○ 81○	90◎ 91◎	78 81○	保護者の評価が高いのは、児童の生活の中に読書をする姿が見られるからだと思われる。児童の評価を高めるためには、児童が手に取りたくなく図書を揃える視点と授業から発展させる発展読書の視点をもつことが必要である。
	8 生活態度の育成	あいさつや言葉遣い等の基本的な生活態度の育成に努めている。	88○ 85○	79 85○↑	85○ 88○	三者の評価が高い。あいさつビンゴを中心に活動した成果を実感しているためである。基本的な生活態度は、集団生活の中で毎日意識させて実践させることで育んでいく。重点化、焦点化された取組の中で、児童の自己評価や相互評価を取り入れて、やればできるという自尊感情を育てる。
	9 いじめ不登校等への対応	いじめや不登校が発生した場合適切な対応・指導に努めている。	91◎ 91◎	86○ 82○	81○ 83○	三者の評価は高い。適切な対応・指導を積み重ね、個々の事案に親身に関わっている成果である。いじめ・不登校を生まない環境作りを心がけ、早期発見、適切な対応に徹する。
	10 清掃美化の推進	清掃指導や美化活動の指導に努めている。	86○ 87○	86○ 89○	73 75	週3回15分間の清掃指導と給食時間に清掃活動を行なっている。校舎の床や廊下に砂埃が目立つ冬場は、扉の開放を小まめに行い校舎への吹込みを減らした。これからも、限られた時間を効率よく活用し、児童と一緒に清掃をしながら指導する。
確かな学力の向上	11 授業改善	わかりやすい授業の工夫に努めている。	95◎ 95◎	87○ 88○	83○ 78↓	児童の評価が高いのは、教師が自分のつまずきに応じた支援や助言をしているからである。教師はより良い学習環境や教材を準備し、授業改善を実践している。教師の評価が低いのは、授業改善の余地があることを自覚しているからである。
	12 朝の活動の充実	読書・漢字・計算の時間を計画的に実施するよう努めている。	92◎ 91◎	88○ 90◎	75 82○↑	ドリルやプリントを使つての漢字や計算の練習、小テストでの確認など、朝の活動が充実していることを実感している。より効果的な実践を各担任模索中である。
	13 学習規律の定着	学習規律の定着に努めている。	94◎ 97◎	88○ 86○	78 81○	「話し方」「聞き方」など授業の約束を継続して指導し、良い学習規律を定着させている。
	14 言語力の向上	「話し方・聞き方・書き方」を指導し言語力を向上させている。	87○ 85○	83○ 87○	78 83○↑	机の配置を工夫したり、学習内容によって、ペア、グループ、全体など話し合いの形態を選択したりして言語力の向上を図っている。いろいろな場を活用して、表現力を高める指導を行う必要がある。

	15 個別指導の充実	一人一人の実態に合った指導に努めている。	94◎	85○	78	学習の目標を達成させるためには、児童の個性を配慮し個別指導が必要である。困り感のある児童には合理的配慮をし、授業以外で補完する時間を設定し対応している。
			92◎	86○	83○↑	
	16 学びの習慣化	家庭学習が習慣化するよう課題を与えたり点検したりしている。	95◎	89○	89○	三者の評価が高い。児童の実態に合わせた家庭学習が習慣化し、子どもの成長につながっている。学年に応じて自主学習を推進する。
健康と安全の推進	17 体育の充実	体力向上をめざした指導に努めている。	93◎	85○	78	児童の体力的課題を把握し、指導内容の構成を工夫する。昼休みの外遊びは、学級全員遊びなどを通じて運動場で遊ぶ児童が増えてきた。担任から働きかける。元気タイムは短時間ではあるが、運動の習慣化につながるので継続する。
			93◎	87○	75	
	18 食育の充実	給食、食育の指導に努めている。	87○	84○	75	食に関する学習や栄養教諭による「食」についての指導の効果を感じている結果と思われる。教師の評価は高くなったが、配膳の仕方や食べ方、片づけ方の指導に課題を持っている。
			89○	84○	81○↑	
19 健康教育の充実	健康に関する指導に努めている。	88○	84○	78	発育測定などの時間に、養護教諭が学年の発達段階や時季に応じた保健指導を行っている。教師の評価が低いのは、ハンカチちり紙等の携行が低いと感じているためである。また、昼休みや掃除の後の手洗い・うがいの定着も課題である。	
20 安全教育の充実	安全に関する指導に努めている。	95◎	86○	78		集団下校を毎日実施した。歩いて下校する児童の中に、通学路を通っていなかったり、整列して歩いていなかったりと保護者からの情報提供があり指導した。生活指導連絡会で現状や課題を全職員で把握し共通実践している。
		94◎	87○	72↓		

自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○ 学校経営	4項目とも児童・保護者は85%以上を達成している。教師の2項目の「育友会や地域との連携」が未達成であるが、市P親睦球技大会や諫早のんのこ祭りの街踊りの練習に自ら参加して、教師の評価は前回より改善している。少数意見ではあるが、どのように取り組んでいるのか分からないという保護者の意見があった。学校便りやHPで、より分かりやすく情報を発信する必要がある。他校の児童と参加した小体連や小音会、学校行事の学習発表会等で、児童の伸び伸びと活動する姿を見ることできたという保護者の評価をいただいた。
○ 心の教育	6項目中4項目が三者とも80%を達成した。たてわり班で元気タイムの長縄跳び、給食や昼休みの遊びを実施した。他の学年と話したり遊んだりすることが児童にとって楽しい学校生活となり、同級生とも新しい人間関係を作る良い機会となっている。上学年には下学年の面倒を見ることでリーダー性を育み、下学年は上学年が自分たちをリードする姿に夢や憧れを抱きながら、心豊かに成長している。
○ 確かな学力の向上	学力の向上には学習規律の確立が必須である。「話し方」「聞き方」など授業の約束を継続して指導することで学習規律を定着させている。教師は、良い学習規律の中で授業改善を実践し、学力を向上させている。学習に課題を持つ児童の困り感は様々であるから、保護者の思いを汲み、必要な児童には合理的配慮をし、授業以外で補完する時間を設定し対応する。
○ 健康と安全の推進	体力向上を目指し柔軟性を高めるジャックナイフストレッチを授業の中で継続させる。取り組んだカードや常時活動での取組、元気タイム(持久走・長縄とび)の体力づくりを継続し、屋外で活動した後の「手洗い・うがい」の指導を徹底させる。

学校関係者評価

① 児童と保護者の評価が高く教職員の評価が低い項目がある(項目3, 4)が、教職員の評価は前回より改善している。市P親睦大会や諫早のんのこ祭りの街踊りの練習に参加し、関わりを改善しようとする教職員の意欲を感じる。
② 保護者の評価が低くなった(項目9)。いじめはどの子にも起る。これからも未然防止、早期発見に努め、指導の手立てを工夫して、いじめのない安心して過ごせる学校にしてほしい。
③ 教職員の評価が低くなった項目(項目11)があるが、授業改善の余地があることを自覚しているからであると思われる。児童や保護者の評価が高いので、自信をもって授業改善を推進してほしい。
④ 創立記念餅つきを子供たちが配布したのが良かった。地域のお年寄りや子供とのふれあいを楽しみにしている。次年度のふれあい交流会の昼食は弁当を手配するので、学校の負担にならないような内容でこれからも継続してほしい。
⑤ 芋苗が枯れないように芋さしの時期を少し早めた方がいい。収穫を増やすためにも、蔓起こしをやった方がいい。田の水入れは6月5日頃と決まっているので、芋さしと同じ時期に行うことはできないと思うが、例年より田植え時期を少し早めてはどうだろうか。
⑥ これからも屋外で活動した後の「手洗い・うがい」の指導を徹底させ、インフルエンザの罹患者が増えないように取り組んでほしい。

対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○育友会活動や健全育成会活動への教職員の参加を輪番制にするなど、できるだけ全職員が関わられるように工夫する。 ○児童へのアンケートや面談を実施するとともに、家庭と連携し未然防止と早期発見に努める。たてわり活動など異学年交流による学びを通して心豊かに成長する環境づくりを推進し、いじめのない安心して過ごせる学校にする。 ○学力向上に不可欠な「話し方・聞き方」など授業の約束を継続して指導し、新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」ができる児童を育成するため授業改善を進める。また、教育相談を適宜実施し、個別指導や合理的配慮を提供し、学習に課題を持つ児童の困り感を減らしていく。 ○ふれあい交流会は児童も楽しみにしており、地域のお年寄りやふれあうよい機会なので、今後も継続していく。 ○芋さしは運動会後の5月下旬に実施する。畝作りは育友会の環境整備作業(草刈り)と並行して行う。田植えは例年どおりの時期に土曜授業として実施する。 ○歯みがきと併せて手洗い・うがいの指導を徹底させ、むし歯を減らしインフルエンザの罹患者が増えないように取り組む。
--